

☆ 寄稿 ☆

◇助教 山辺武郎 もと技術研究生 田中米吉「陽イオン交換膜における陽イオンの選択透過性」工化誌, 63, 1342 (1960. 8)

☆ 特許 ☆

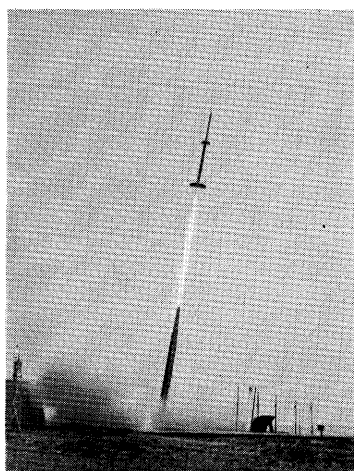
◇教授 永井芳男「P-フェニフェルノールの製造法」特許出願公告, 昭35-8720 (特願昭32-415), (1960. 7. 7)
◇教授 永井芳男「芳香族スルホン酸類を横型連続式反応装置を用いてアルカリ融解する方法」特許出願公告, 昭35-13213 (特願昭31-31392) (1960. 9. 12)

☆ 観測ロケットの飛しょう, K-8 型外 ☆

昭和 35 年度の観測ロケットは, カップ8型の開発と観測に主点が置かれ, 本年度前半は, 7月に2機, 9月に2機が打ちあげられ, また IGY に活躍した6型1機と6型の性能向上機6H型1機とが9月に打ちあげられた。このうち, 6型, 8型各1機は, それぞれ気温・風正イオン密度・宇宙線を観測して, 9月16日から22日までの間に実施した国際ロケット週間に参加したのものとしてその目的を達成した。飛しょう場所は, いずれも秋田県道川である。

飛しょう日	ロケット名称	摘要
1960年7月11日	K-8-1	8型としての飛しょうテスト
1960年7月17日	K-8-2	同上およびイオン密度観測テスト
1960年9月17日	K-6-18	気温・風の観測
1960年9月22日	K-8-3	イオン密度・宇宙線観測
1960年9月26日	K-8-4	同上, 夜間観測実施
1960年9月29日	K-6H-1	気温・風の観測

気温・風観測に用いた発音弾は, 6個に増加された。



K-8-3の飛しょう。1960年9月22日, 秋田県道川にて

昭和 35 年度観測ロケットのうち, ロクーン実験は, 7月に実施した予備実験と, 10月に予定する本実験とであって, 7月実験は, 7月1日と2日の両日にわたって行なわれ, 茨城県筑波郡谷田部町, 館野高層気象台構内を放球点とし, 鹿島なだ沖を落下点として2回実施したこの実験では, 新しい設計による気球と放球方法およびコマンド操法等のテストが行なわれた。

10月実験は, 青森森六ヶ所村で行なわれるもので, 10月8日から18日まで, ダミーロケットによる予備実験と, シグマ4型1号機による宇宙線観測とが一応予定されているが, 実験の都合で, ダミー2機となることがある。

筆者紹介

◇金 森 九 郎 教授 専攻 鉄鋼製錬工学	◇館 充 技官 専攻 同上 鉄鋼製錬工学
◇和泉沢 信 技官 専攻 同上	◇雀 部 高 雄 研究員 専攻 同上
◇中 根 千 富 助手 専攻 同上	◇森 一 美 茨城大学助教授 専攻 金属工学
◇金 鉄 祐 技術員 専攻 同上	◇松 下 幸 雄 教授 (工学部) 工博 専攻 鉄鋼製錬工学
◇鈴 木 吉 哉 技術員 専攻 同上	◇原 善四郎 助教授 専攻 金属材料学

出版委員	委員	竹中 規雄	委員	高橋 武雄	専門委員	星野 昌一
出版委員長 久保田 広		石原 智男		*館 充		斎藤 成文
委員 大井光四郎		浜崎 襄二		田中 尚		玉木 章夫
小瀬 輝次		安達 芳夫		*三木五三郎	編集室	下村潤二郎
安藤 良雄		河添邦太朗		(* 印当番 委員)		水野 清明

第 12 卷 第 10 号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として, 毎月1回発行する)

1960年10月1日 発行

頒価 120 円 編集者 久保田 広
発行者 福田 武雄

印刷所
発行者

三美印刷株式会社
東京都千代田区神田多町2の7
東京大学生産技術研究所
千葉県千葉市弥生町1
電話千葉(2)0261(代表)